

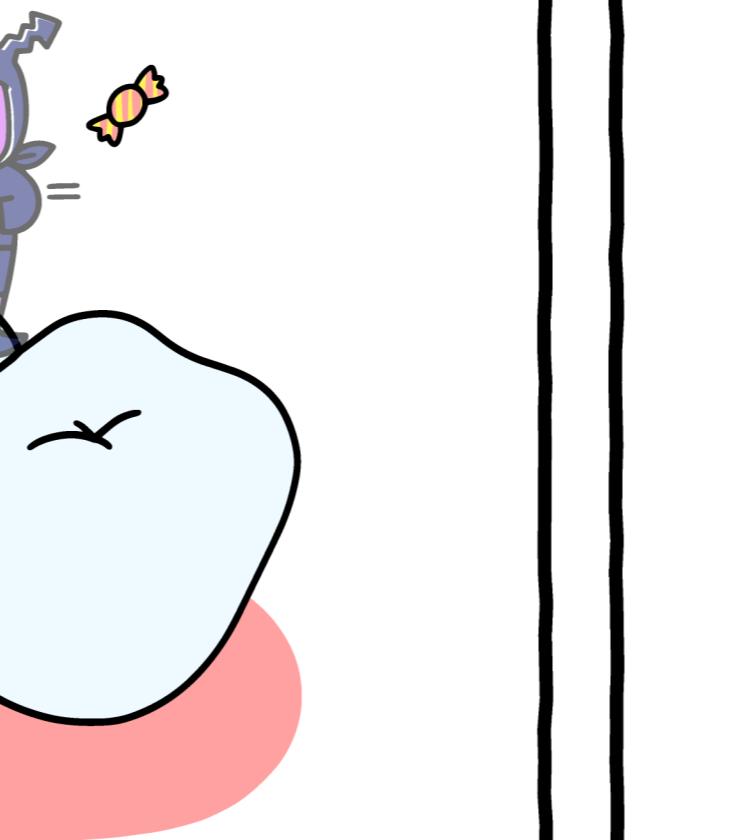
はみがきってなぜたいせつな?

1

みんなのくちのなかには、
めにはみえませんが、
ばいきんがたくさんいます。

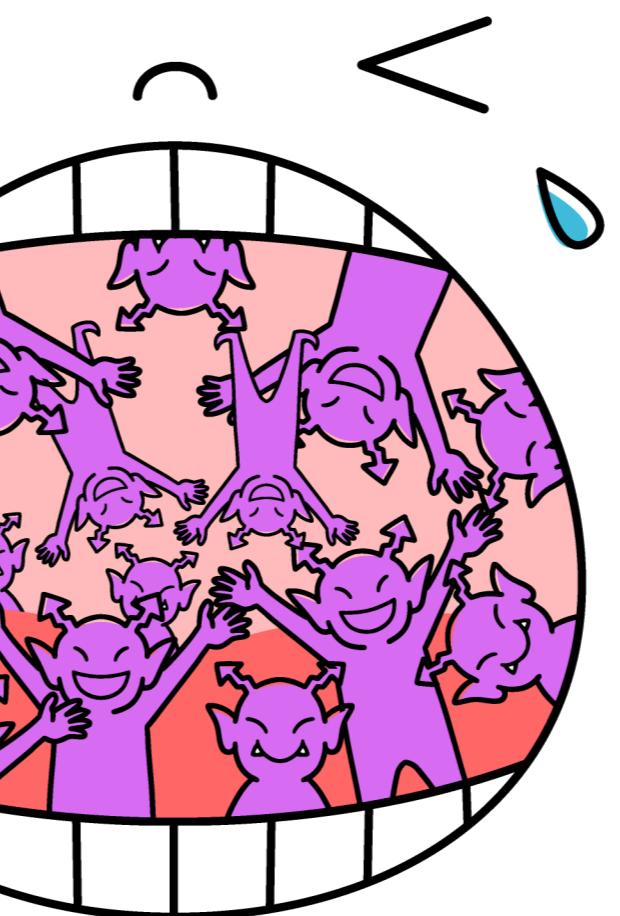
2

ごはんをたべると、ばいきんにも
えいようがいって、ぶんしんのじゅつ
をつかって、もっとふえます。



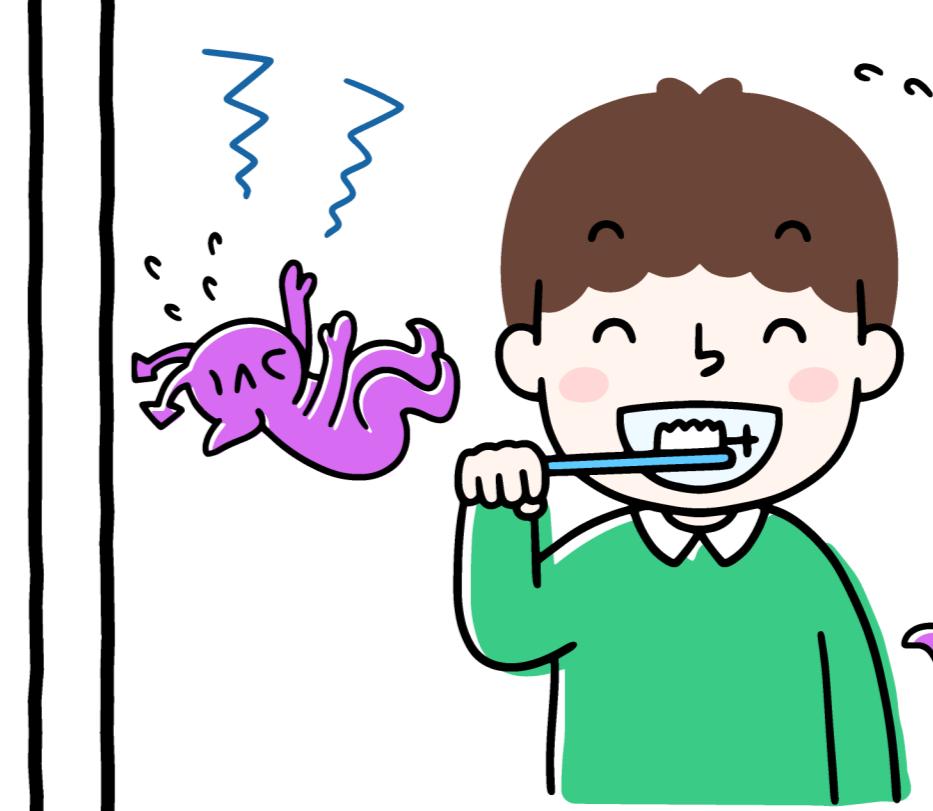
3

すると、くちのなかがばいきんで
いっぱいになります。



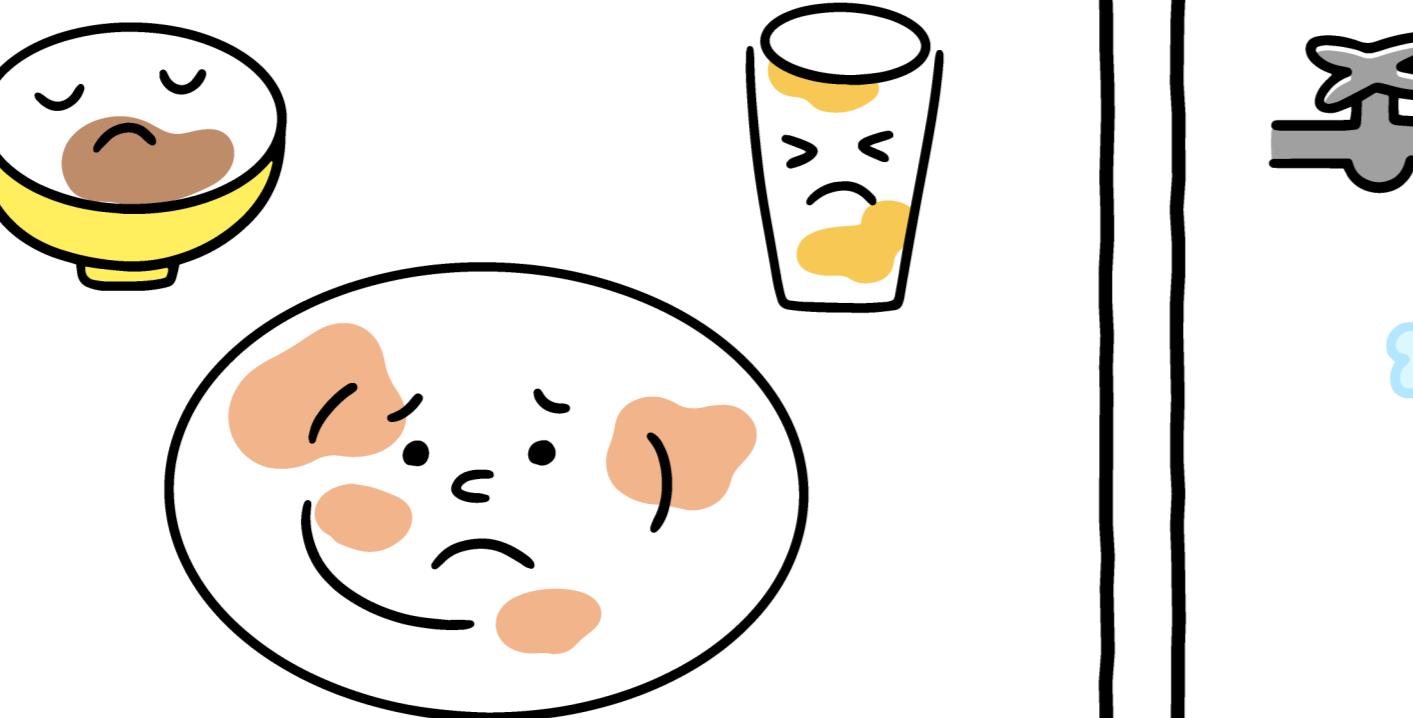
4

ですから、はぶらしなどつかって、
ばいきんをやっつけましょう。



なぜはみがきしたら **は** がきれいになるのですか？

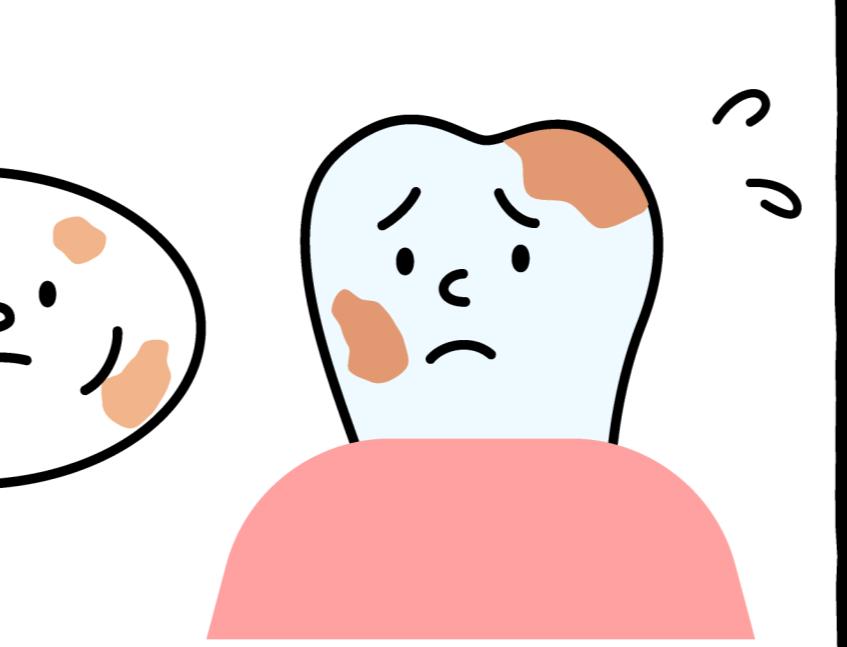
1 ごはんをたべたあと、おさらはよごれていますよね。



2 よごれをとるために、おさらをあらってぴかぴかにしますよね。



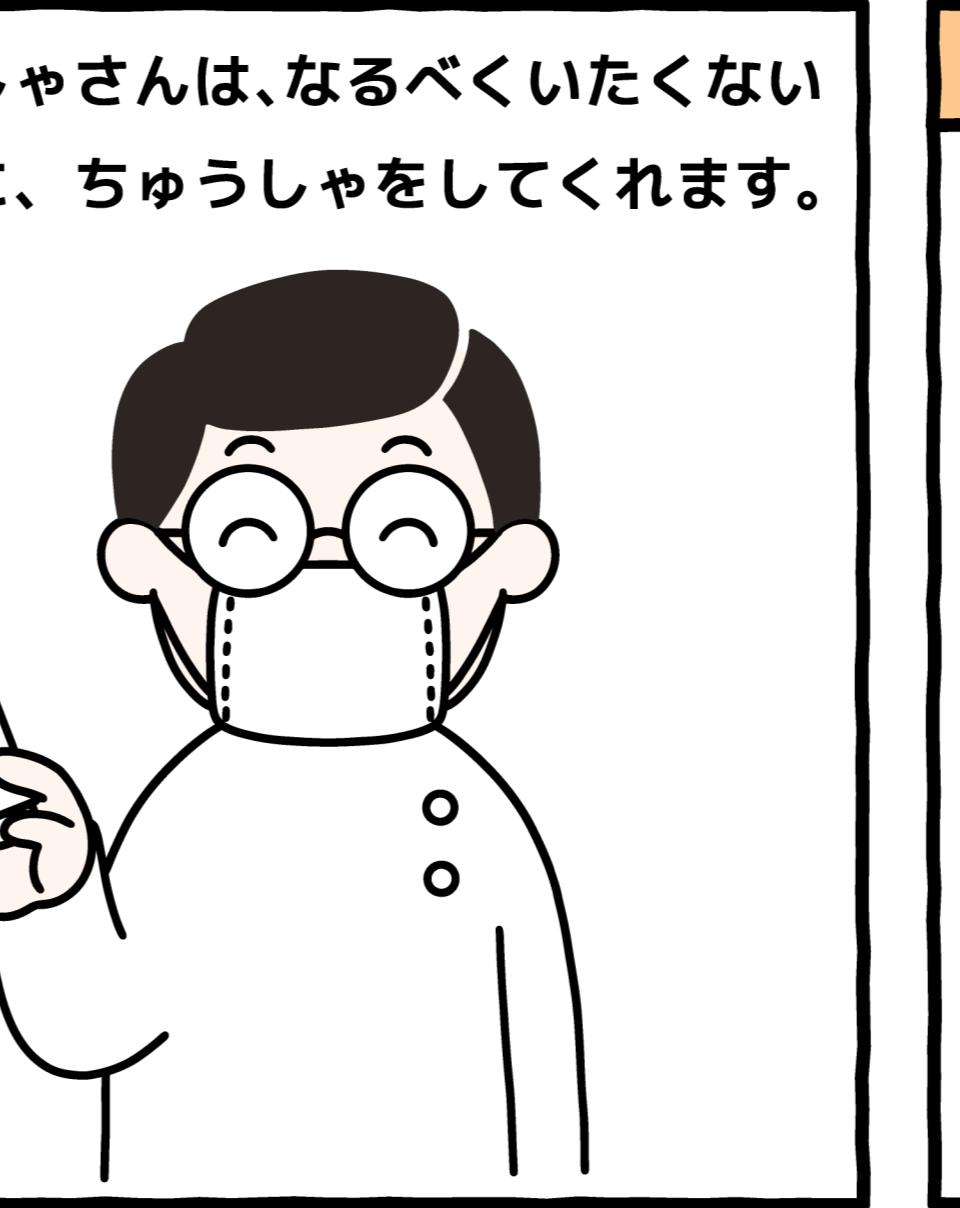
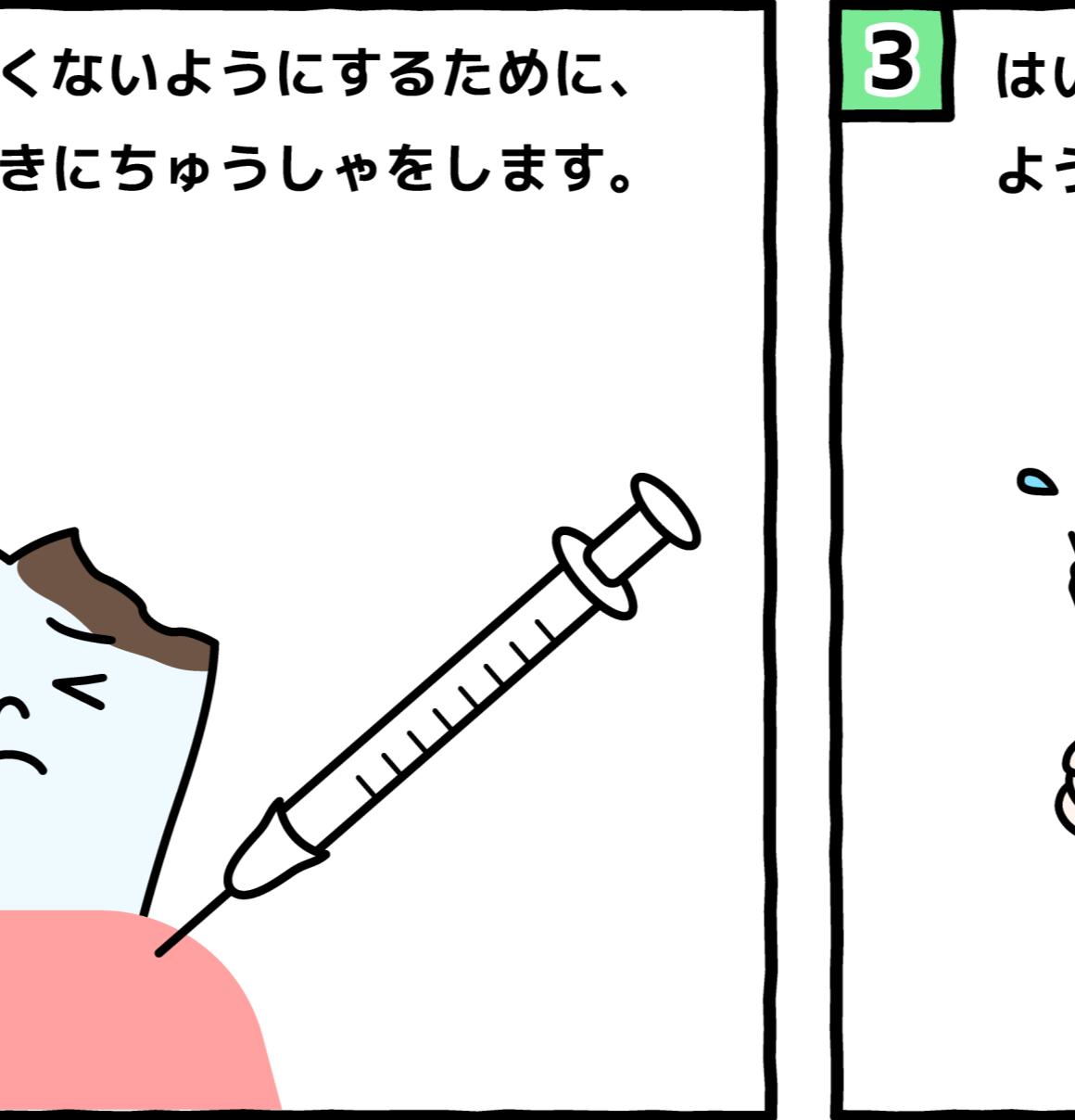
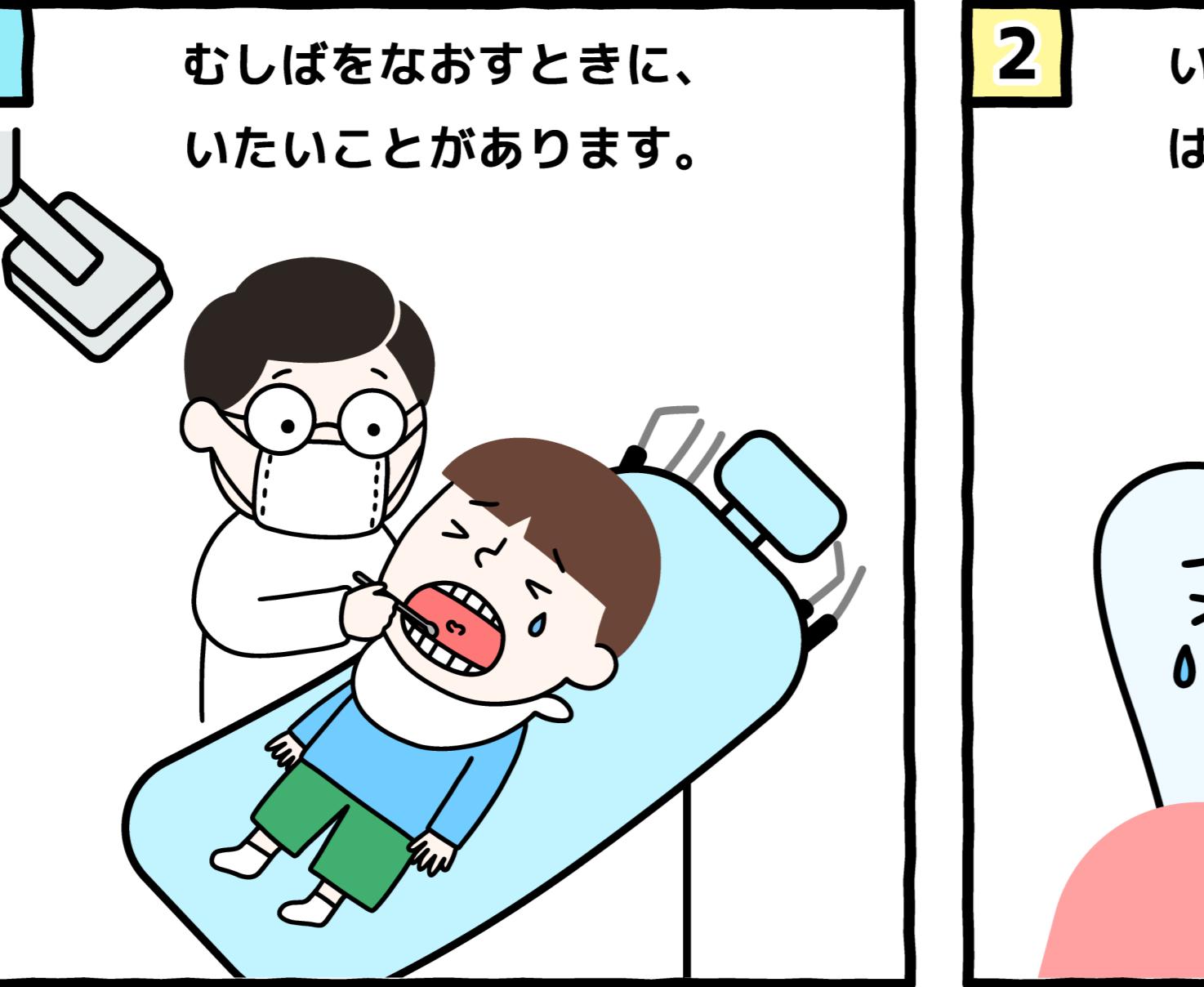
3 **は**もごはんをたべると、おさらとおなじでよごれてしまします。



4 だから、おさらとおなじようにはみがきでは**は**をぴかぴかにしましょう。

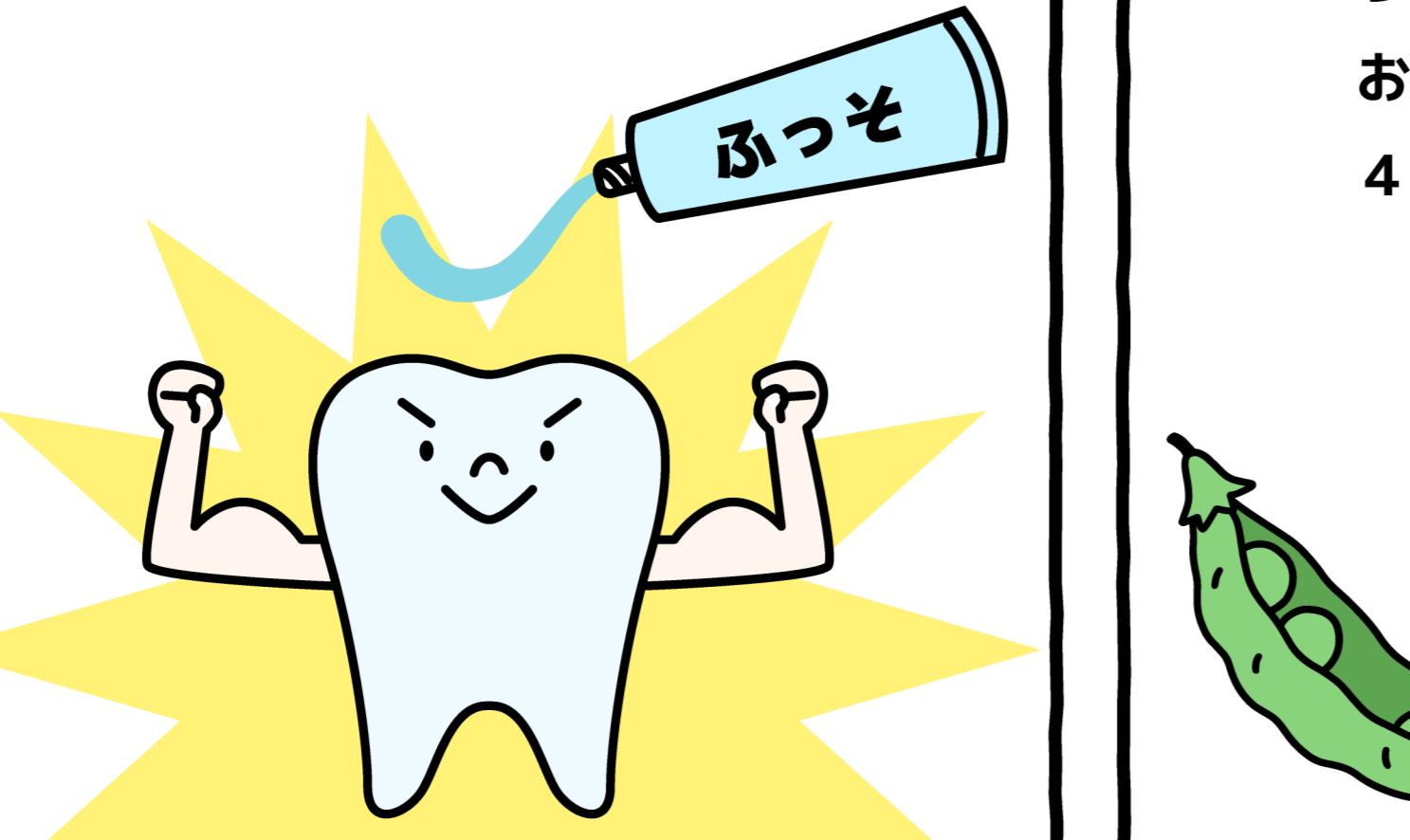


はぐきにはどうやってちゅうしゃをするの？

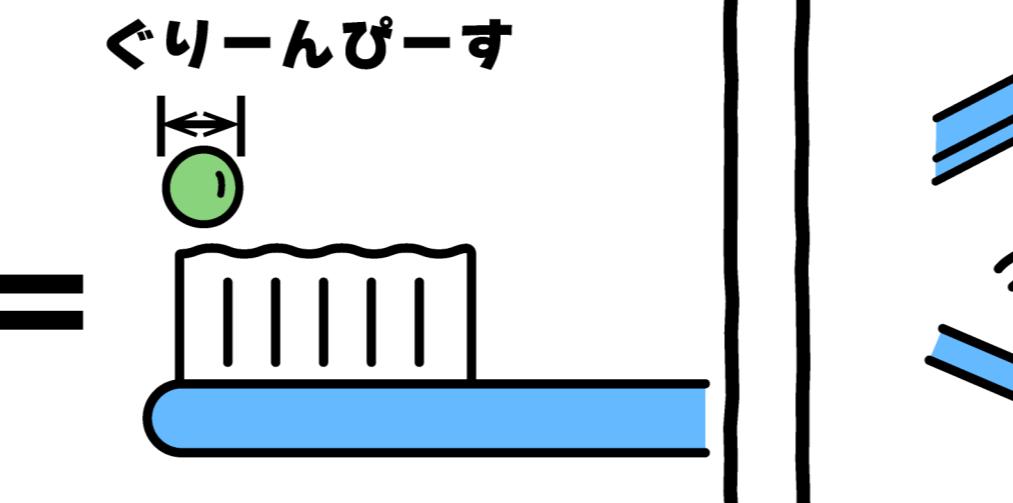


はみがきこはどのくらいいっけるの？

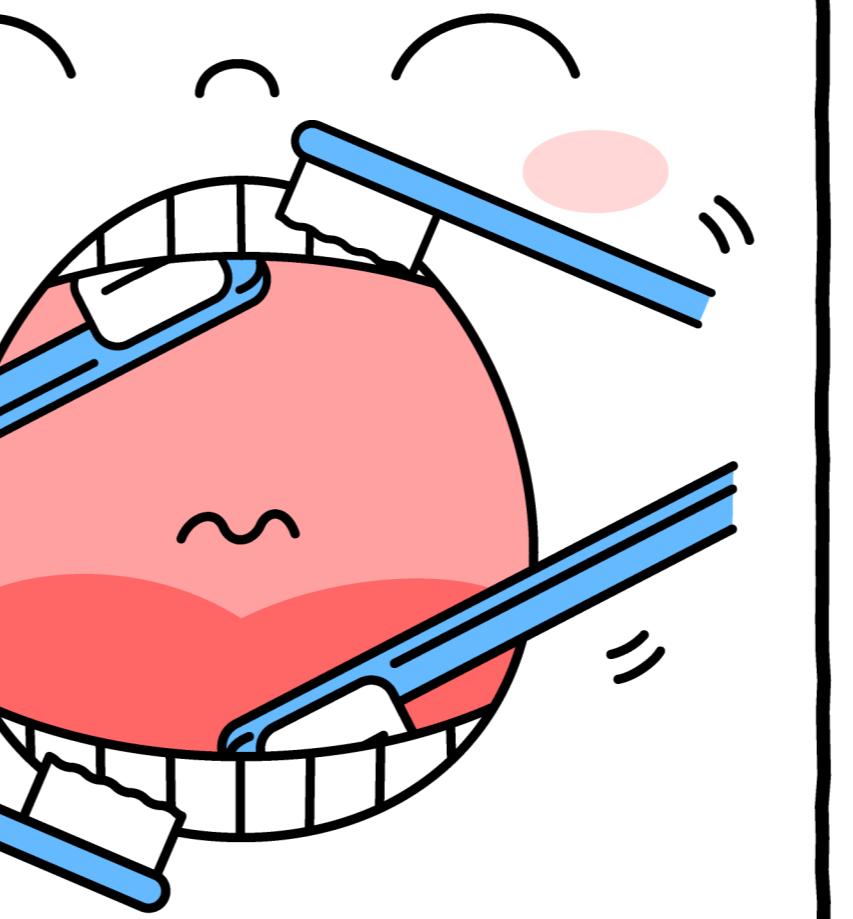
1 ふつそいりのはみがきこは、
はをつよくすることができます。



2 はみがきこは、はぶらしに
ぐりーんぴーすくらいたして
つかいます。
おとなは、ぐりーんぴーす
4こぶんくらいつかいります。



3 はのおもてやうらなどぜんたいを
みがきましょう。

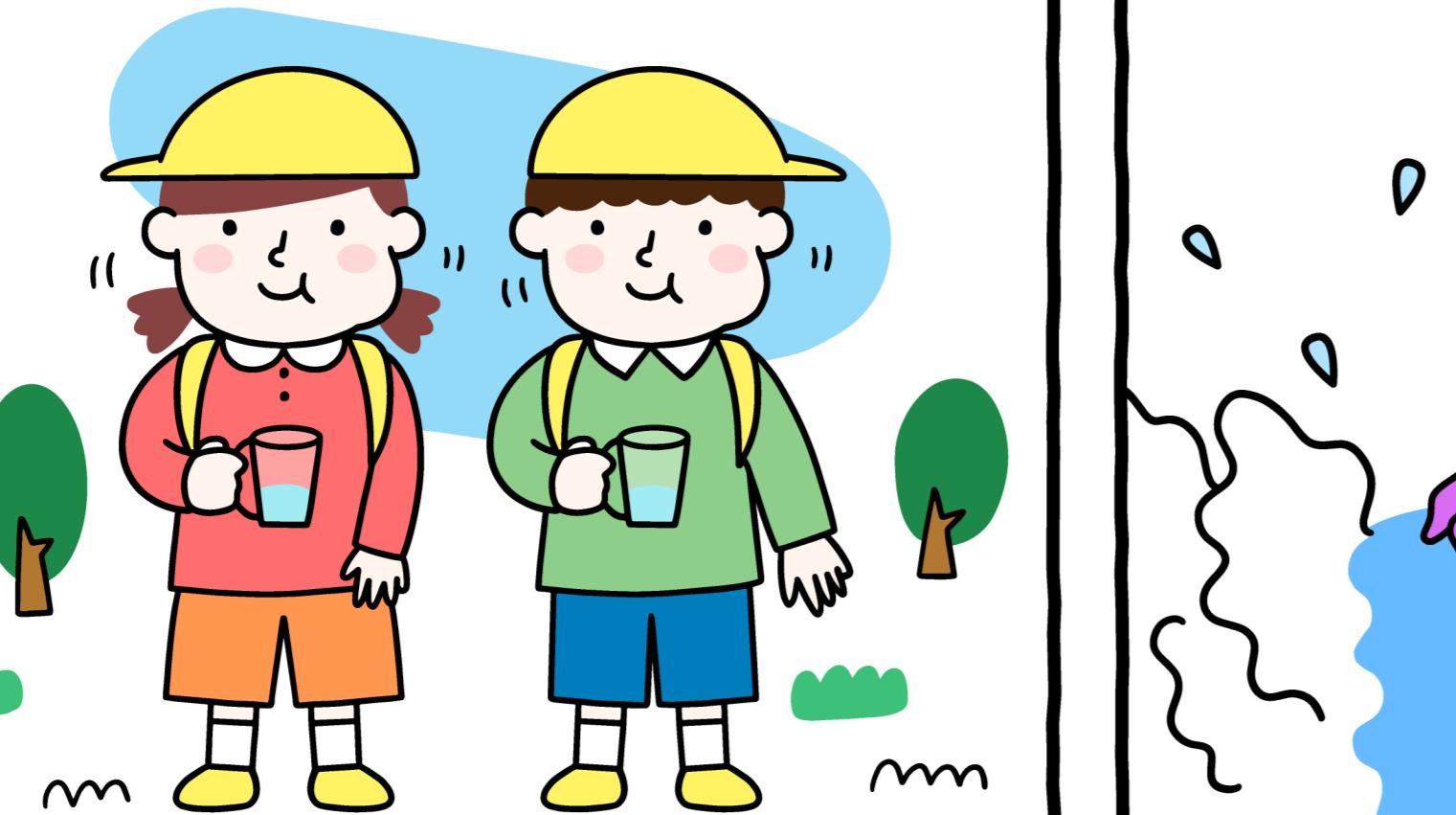


4 はみがきができたら、ぶくぶくうがい
を1かいしましょう。

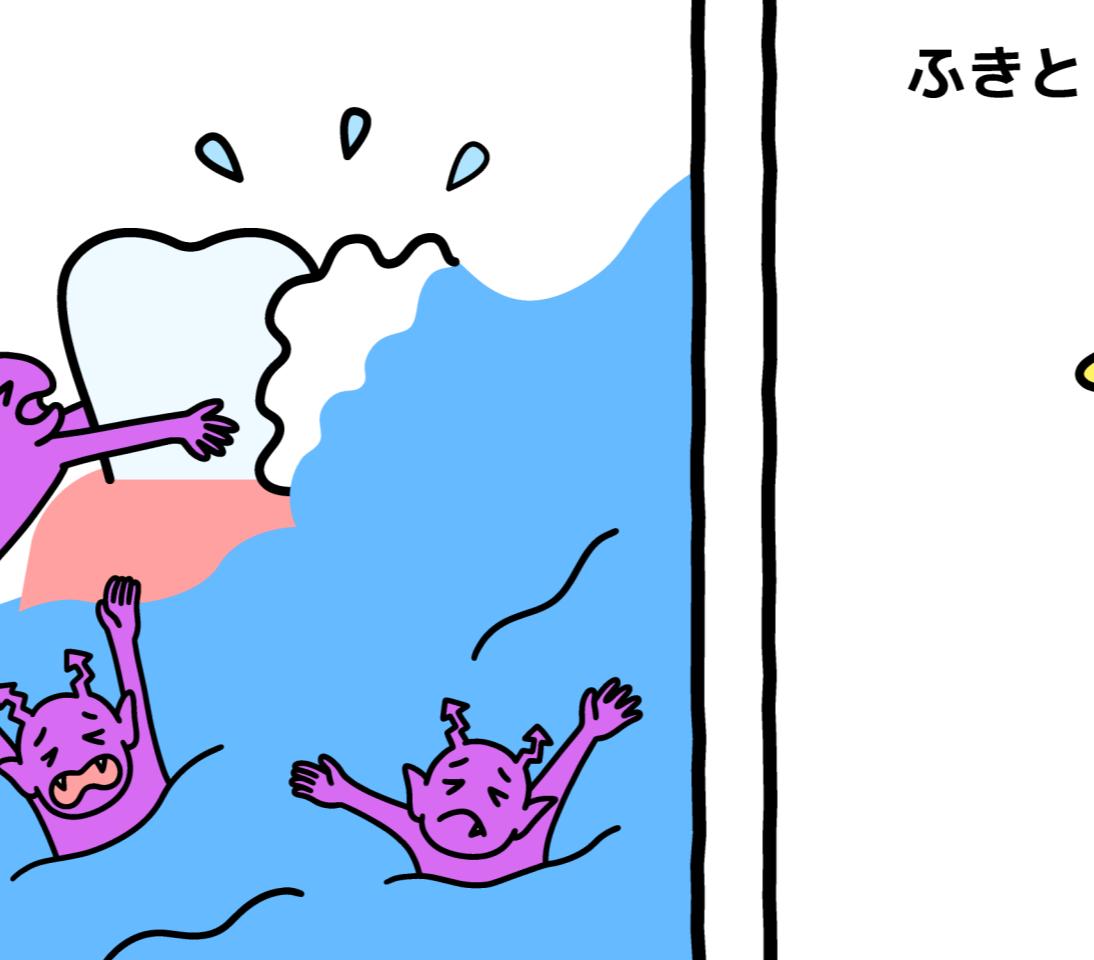


はみがきができないときはどうしたらいいの？

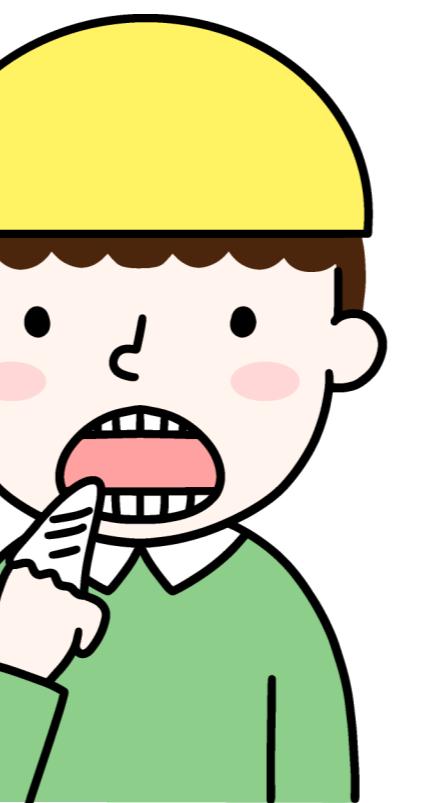
1 そとでていて、おひるにはみがきができるときは、ぶくぶくうがいをしましよう。



2 ぶくぶくうがいで、ばいきんをながすことができます。



3 ぶくぶくうがいもできないときは、うえっていっしゅで、はのよごれをふきとりましょう。

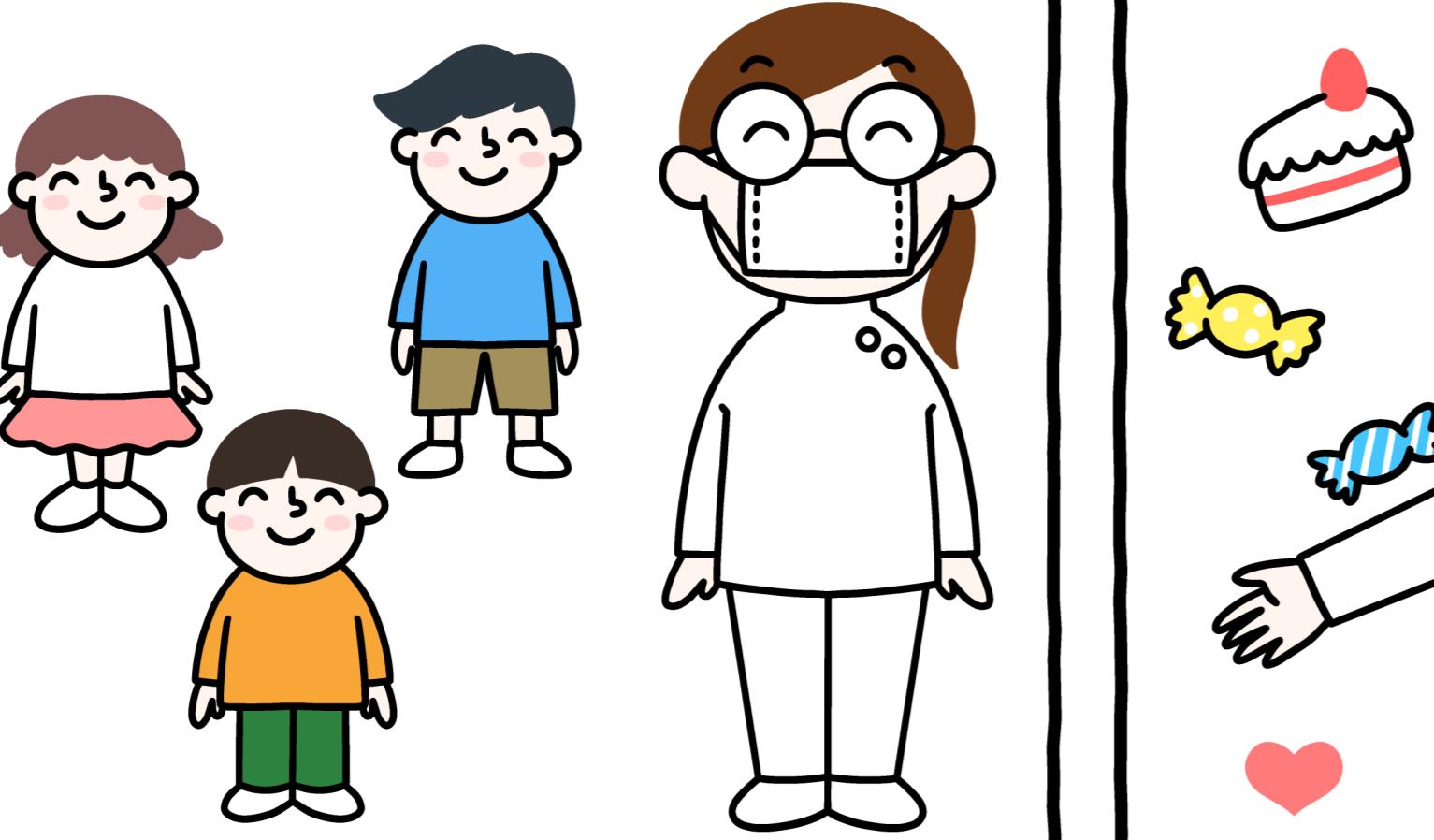


4 しかし、ぶくぶくうがいやうえっていっしゅでは、すべてのばいきんをとりのぞくことができないので、おうちにかえったら、はみがきしましょう！

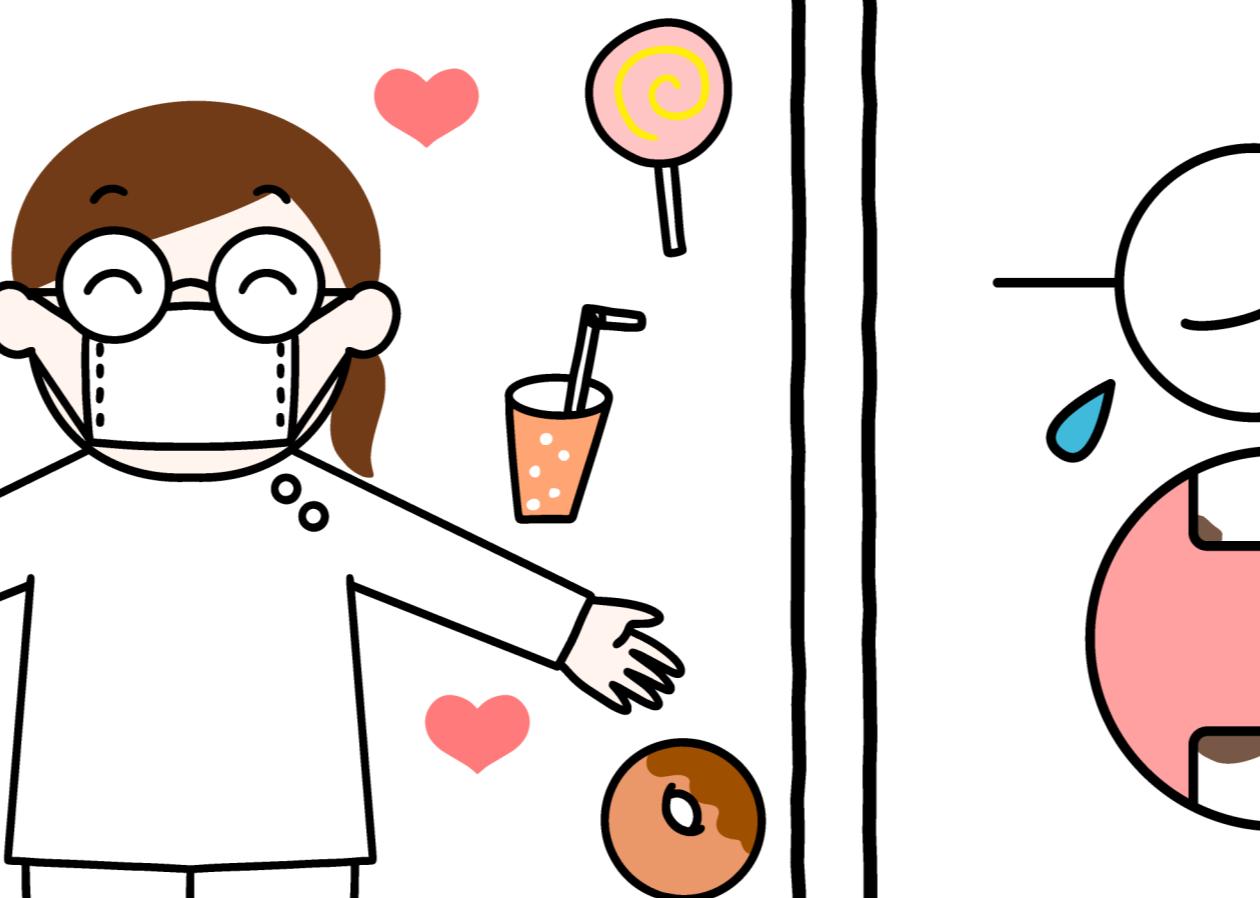


はいしゃさんは、むしばはありますか？

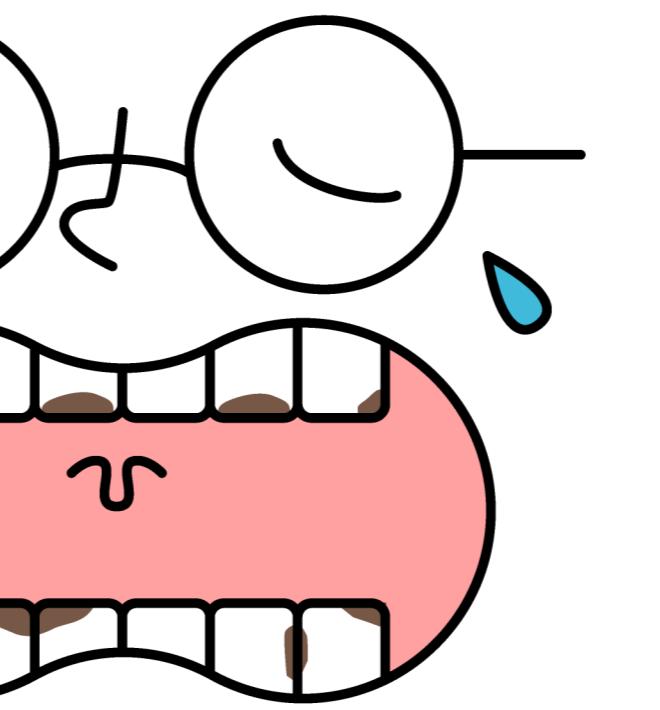
1 はいしゃさんもみんなとおなじにんげんです。



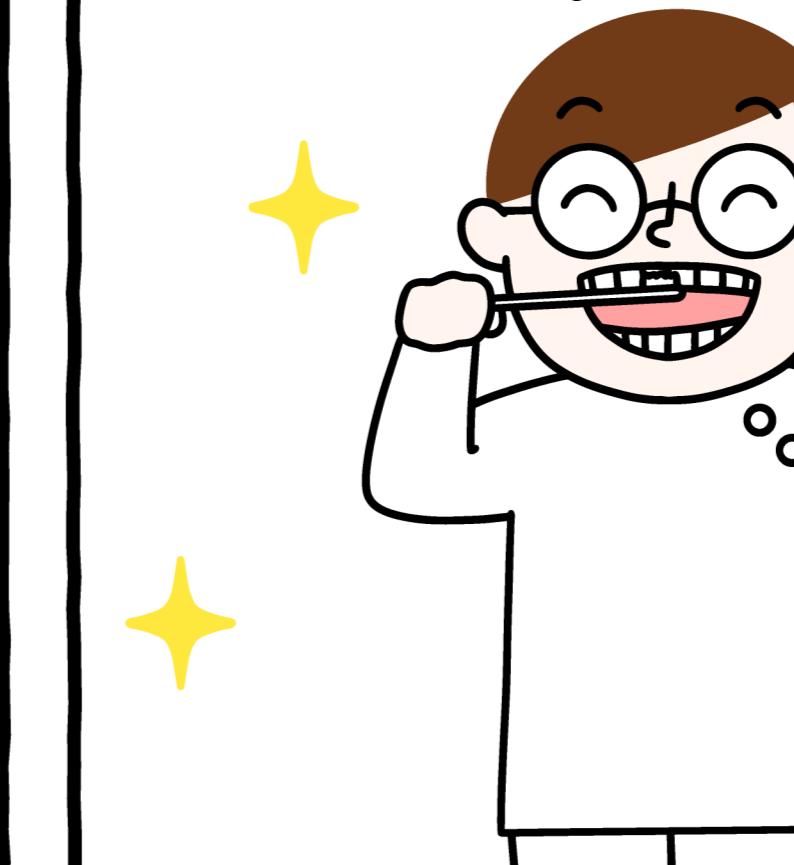
2 はいしゃさんもみんなとおなじようにあまいものがだいすきです。



3 ですから、はみがきしないとむしばになってしまいます。



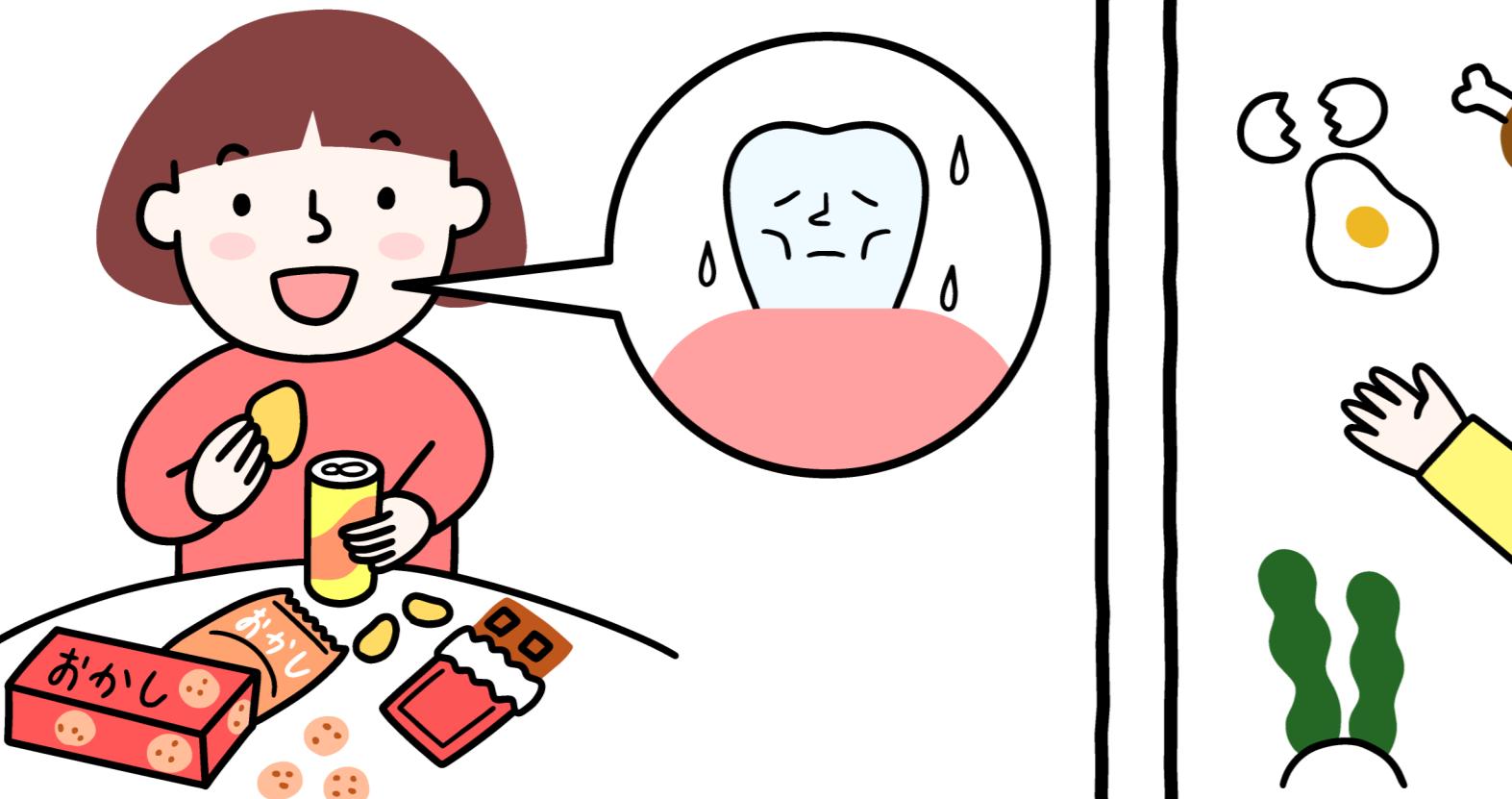
4 なので、まいにちはみがきをして、むしばにならないようにちゅういしています。



なにをたべたら、**は**がつよくなりますか？

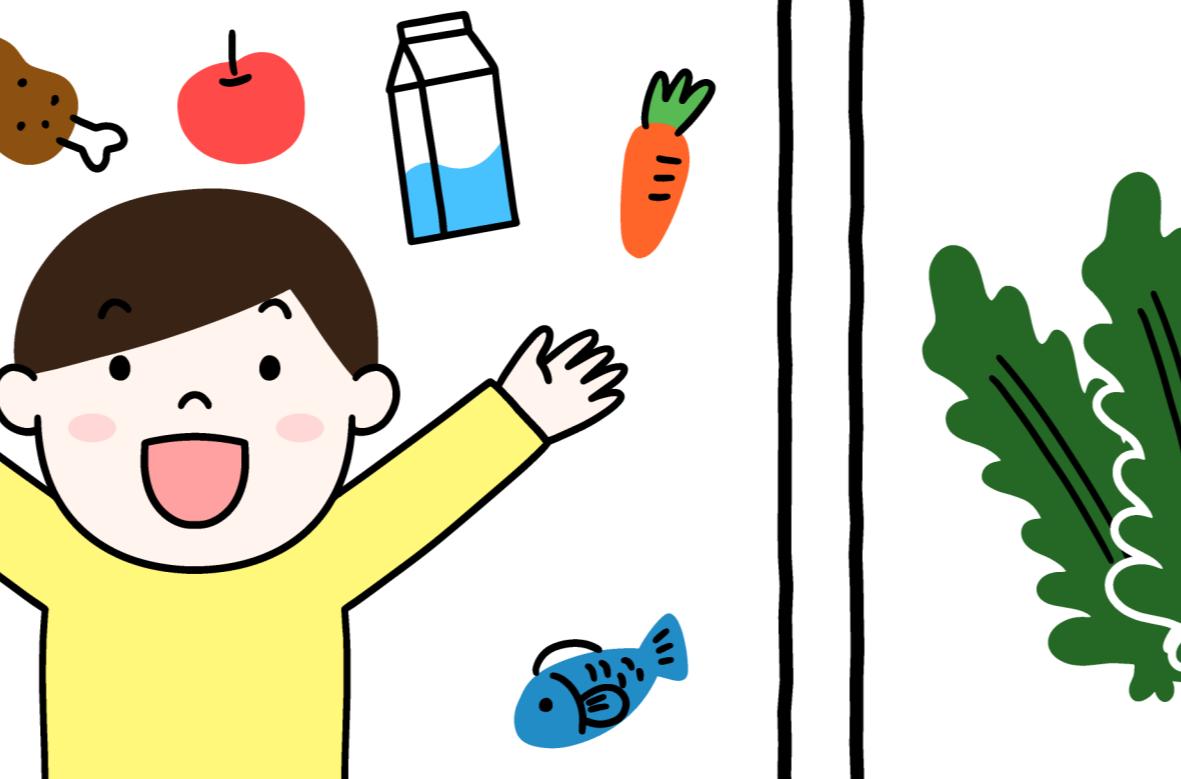
1

おかしばかりたべても、
はがつよくなりません。



2

はをつよくするためには、
すききらいせずなんでもたべること
がたいせつです。



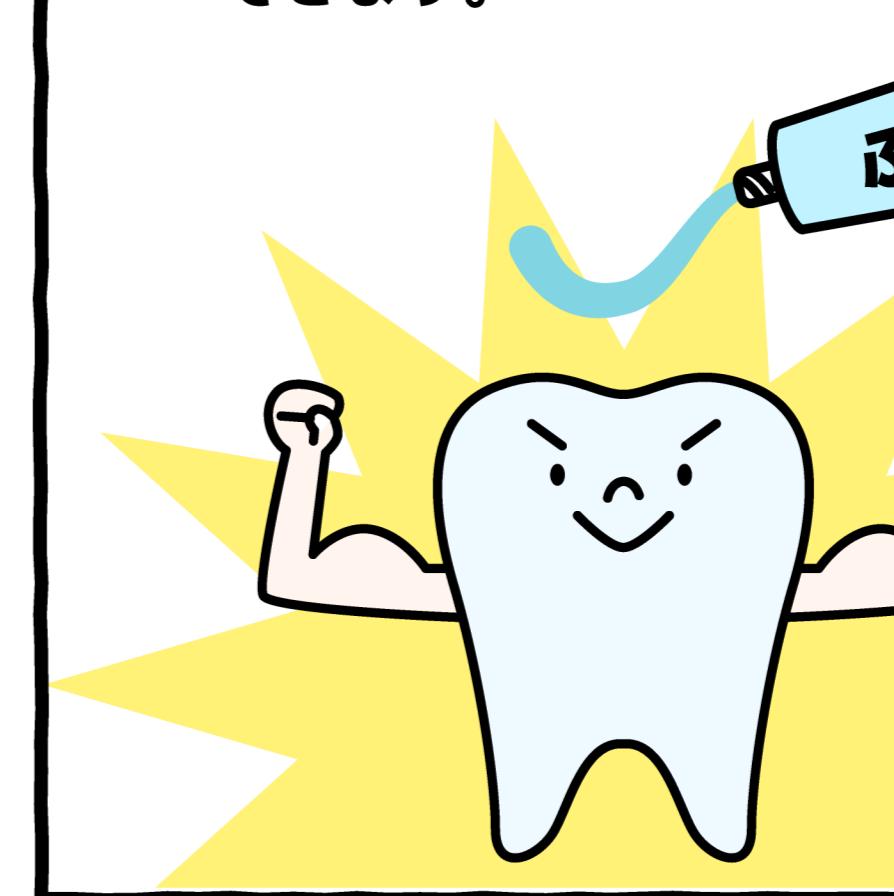
3

とくに、わかめなどのかいそうや
ぎゅうにゅう、ちーずなどは、
はをつよくしてくれます。



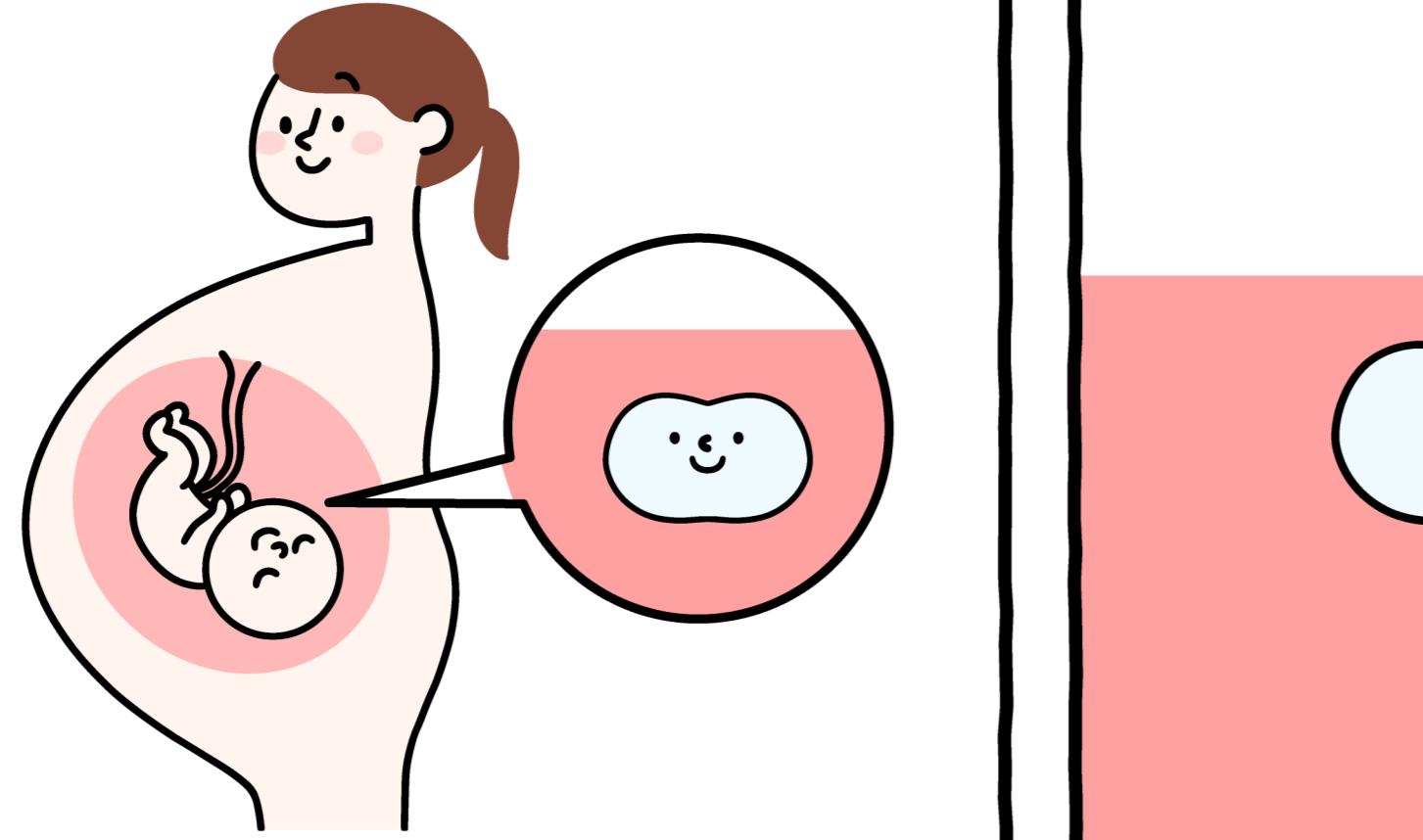
4

ふっそいりのはみがきこをつかう
ことでも、**は**をつよくすることができます。



どうやって、はができるの？

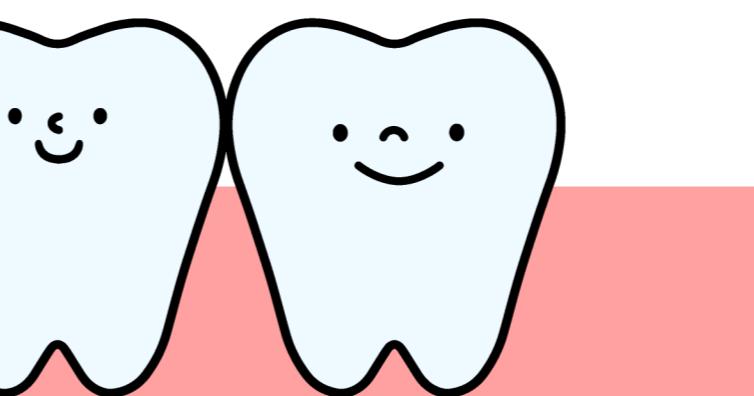
1 あかちゃんが、おかあさんのおなかのなかにいるときから、はのたねのようなものができます。



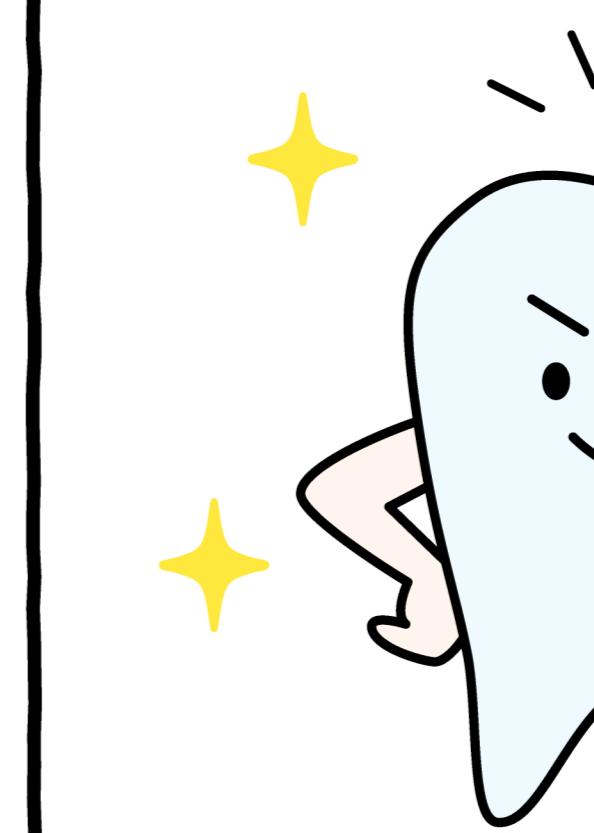
2 はぐきのなかで、はのたねがおおきになります。



3 そして、はのかたちにかわって、はえてきます。

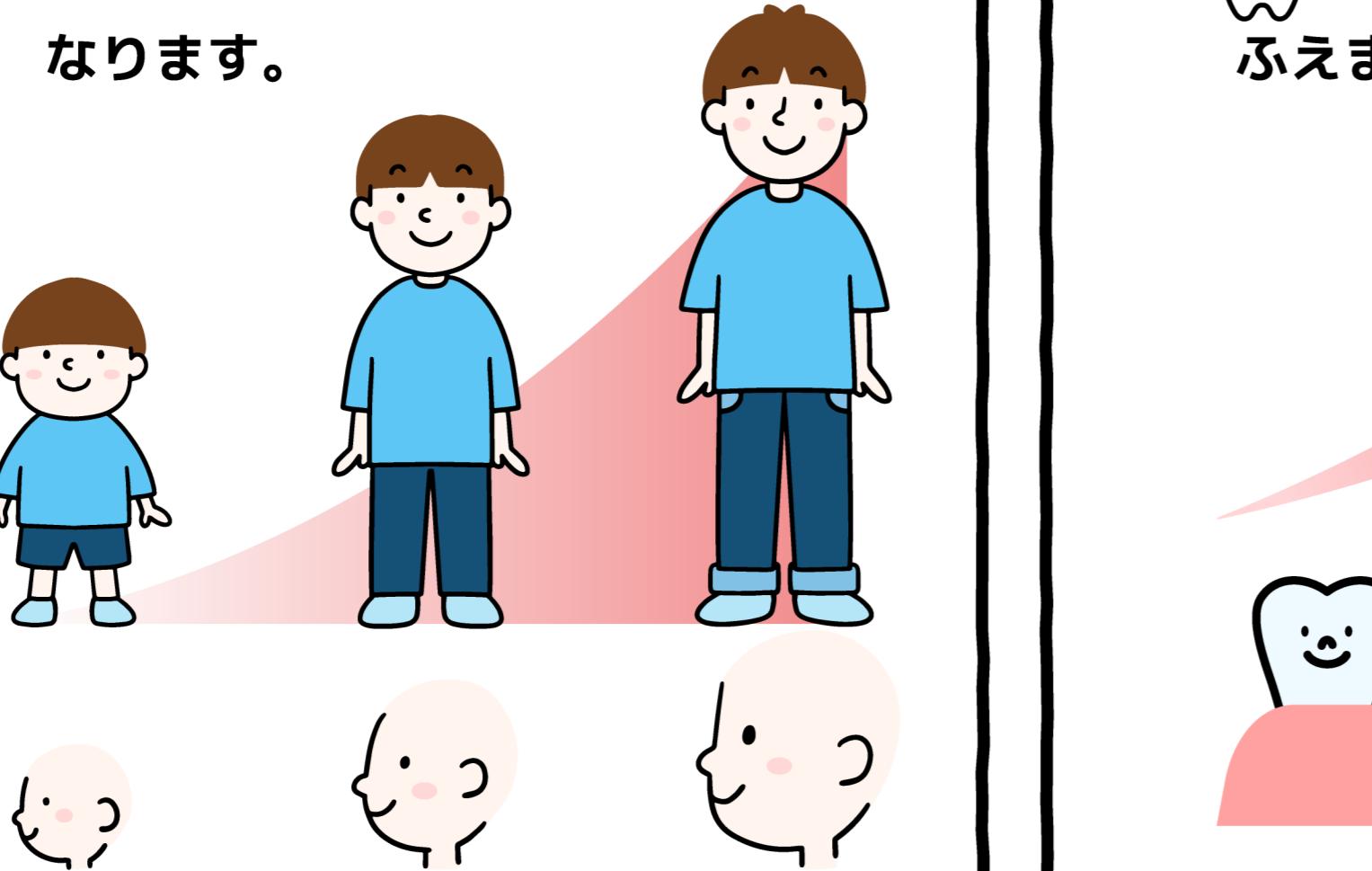


4 かむためのじょうぶなはが、できます。

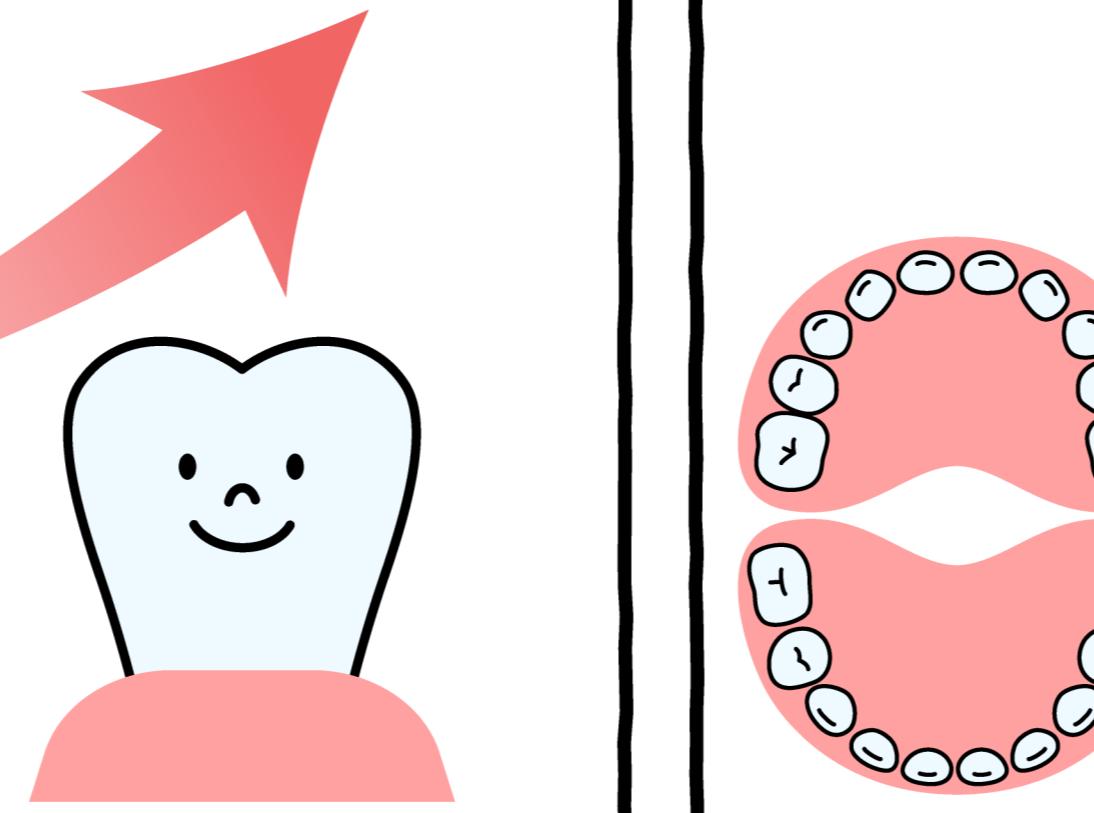


おとののはがはえかわらないのは、なぜ？

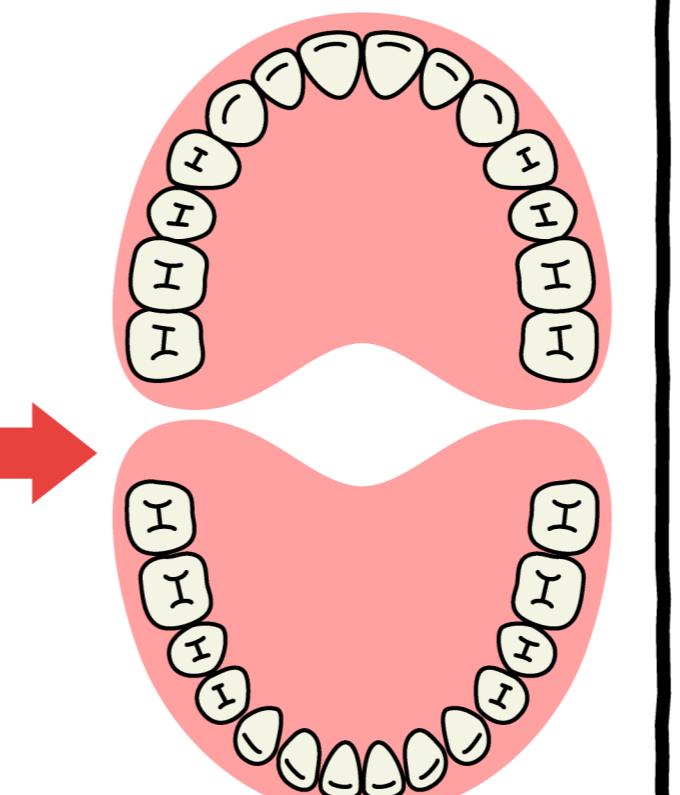
1 しょうがっこうのあいだにからだが
おおきくなるように、あごもおおきく
なります。



2 あごがおおきくなるので、
はもおおきくなり、はのかずも
ふえます。



3 20ほんだった子どものはが、
28ほんのおとのおおきなはに、
はえかわります。



4 それからは、もうあごは
おおきくならないので、はえかわる
ひつようはありません。なので、
たいせつにしましょう。

